



今だから伝えたいこと ~1年担任団からのMessage~

もうすぐ高校入試です。“初心忘るべからず”。入学時を思い出しながら、この一年の振り返りとして、1年生のみなさんに担任団からのメッセージを送ります。

〈機械科〉 機械科1年 担任 中川智志

早いもので1年が終わろうとしています。自分がこの一年間歩んだ「道」に何が残っていますか？

この先にもみんなの前には幾つもの道が広がっています。どの道を歩むのかを決めるのは自分自身です。分岐点も幾つもあるでしょう。人それぞれ自分の選択した道を、どう歩むのか。ただなんとなく歩んだ道のりには何も残っていないのかもしれない。自分なりの何かを目指して歩みを進めてほしいと思います。そうして歩んだ道にはきっと何かが残っているはず。また一年後、今よりも成長した自分に出会えるように。

〈情報電子科〉 情報電子科1年 担任 坂田祐将

早いもので、もう1年生も終わりが近づいていますね。入学した時の気持ちを思い出してみてください。目標に向かって進んできたでしょうか？うまいかなかったこともあるかもしれませんが、それらは自分自身の貴重な経験となり、将来的にプラスになることと思います。

2年生になると専門教科も増え、授業も難しくなってきますが、決して失敗を恐れることなく、チャレンジしていきましょう。失敗からはたくさん学ぶことができます。もう少しできないことがあっても、何が原因なのかプラス思考で考え、改善していきましょう。

2年生まであと少し。挑戦を続けていきましょう！

〈電気科〉 電気科1年 担任 田中友幸

最近、確かにそうだなあと思った言葉を紹介します。

◆人疲れしたときは「対物の世界」に（養老孟司さん）
人ばかり相手にしようとする、疲れたり不安になったり、イライラしたりする。SNSはその典型です。世界は見方によって、「対人の世界」と「対物の世界」に大きく分かれています。（中略）人間は、人の世界と物の世界を行き来することでバランスを保ってきました。「対物の世界」を遠ざければ、「対人の世界」ばかりに目が向くのは当然です。（東洋経済オンラインより引用）◆

対物の世界は“ものづくり”と似ているのでは？ものづくりは自分と向き合うことが最も重要です。今の自分にできること、精一杯やりたいと思います。

〈環境エネルギー科〉

環境エネルギー科1年 担任 田辺誠司

あっという間に1年が経とうとしています。勉学、部活に予定していた成果を上げることは出来ましたか？出来た人はその調子で、出来なかった人は今一度、生活を見直してみよう。

では、何を見直すのか？簡単！簡単！次のことです。朝起きたら、家の人に「おはよう」。ご飯を食べる時に、「いただきます」。家を出る時には、「行ってきます」、帰った時に、「ただいま」。寝る時に、「おやすみなさい」。たったこれだけの魔法の五つの呪文を唱えるだけで、不思議と生活が変わります。騙されたと思って、一か月続けてみてください。“新自分”が現れます！！

〈建設科〉 時は刻まれる 建設科1年 担任 山道俊哉

高校生活1年目がもうすぐ終わろうとしています。充実した1年だったでしょうか？

各自が持っている時間（寿命）は未知ですが、確実に時は刻まれています。

いつ、自分の持ち時間が無くなるかはわかりませんが、減っているのは確かなのです。

持て余した時間や、無駄に過ごした時間はありますか？

コロナなどで臨時休業などもありましたが、計画的に時間を使えたでしょうか？

日頃は時に限りがあることを忘れて過ごしてしまいがちです。高校生活はあと2年しかありません。

ある作家が「死は生の反対ではなく、隣にある」と言われています。事故や病気、いつでも死は身近に存在しています。

終わりの時に悔いがないためにも、いい時間を過ごしましょう。

もう一度聞きます 充実した1年を過ごせましたか？



大山から昇る朝陽が日に日に輝きを増し、春の訪れを感じられる季節となりました。3月1日、本校の所定の教育課程を終了した165名に卒業証書を授与いたしました。式辞の一部を紹介します。

自分が源泉となり幸福であれ！

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは入学以来、コロナ禍に対応した高校生活を過ごしてきました。様々な制約を受け、不幸にも思われましたが、このような状況だからこそ、気づけたことがありました。それは「幸福」とは何かということです。

これまでは難関大学への合格や有名企業への就職、昇進、そして高い収入を得ることが幸福であると、世の中全体が考えてきました。ところが、バブルの崩壊によって、若者を中心にこの幸福感に疑問を感じ始めました。今まで「幸福」と思ってきたことは「成功」であって「幸福」ではないということに気づいたのでした。

コロナ禍の社会の変化の中では、この気づきが若者に限らず世の中全体で共有されるようになりました。そして、幸福であるために、自らの価値観を見直し、これまでの枠にとらわれない働き方と生活スタイルを実践する動きが起きました。

このような新しい時代に旅立つみなさんに、これからの社会を生き抜く上で大切なことの中から一つだけお伝えしたいと思います。それは、「自分が源泉」ということです。つまり、自分から全ての物事が始まっている、ということです。

新しい生活では、初めての経験や困難なことへの挑戦などうまくいかないことや失敗することもあるでしょう。ここで重要になるのが受け止め方です。うまくいかないのは人のせい。うまくいかないのは環境のせい。と、外に原因を求めれば気持ちは楽になるかもしれませんが、解決も進歩もありません。

他人も環境も自分が思うようには変わってくれません。変えることができるのはみなさん一人ひとりの気持ちと行動です。結果は様々な条件が重なり合って生じるものです。一つでも条件が異なれば別の結果になっていたかもしれません。例えば、目的地は同じでも、目の前の分かれ道を右に進むか、左に進むかで、結果が異なる可能性もあります。

何事においても、自分には関係のないことと思わずに、自分が何らかの係わりを持っている、あるいは影響を及ぼしているという立場で結果と向き合い、結果を受けとめてください。

すべての結果への影響力が自分にあるということは、たとえ、それが悪い結果であったとしても自分で創った結果は自分で創り直すことができるのです。

そして、「自分が源泉」という考え方を実践する上で大切なのは、言葉のあり方です。無意識のうちに使っている言葉の中に、私たちの意識のあり方が明確に現れています。自分が無意識に使っている言葉を注意深く観察してみると、責任を他に求める言葉を使っていることがあります。そんな言葉を使っていることに気づいたら、すぐに「自分が源泉」の視点に立ち、言葉を置き換えてみてください。きっと、みなさんを主体的な人生の歩みへと導いてくれることでしょう。

自分一人だけが幸福であることはあり得ません。周囲の人々も幸福であってこそ、自分自身も幸福でいられるのです。自分が源泉となり、周囲への関わりを持ち、共に幸福であってください。

創立100周年の記念すべき年に卒業する皆さんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

校長 松川 明義





将来に向けて！2年担任団からのメッセージ

早くも3月になり、本年度も終わりに近づいています。学年末考査が終了し、ほっと一息をついていると思います。この一年間を振り返り次年度への目標を立てる時期になりました。入学してから新型コロナウイルス感染症の為に学習活動や学校行事に大きな影響がありました。ようやくコロナの影響もなくなりつつあります。担任の先生方もこの状況に不安を感じながらも、毎日みなさんの状況を見守っています。来年度に向けての激励メッセージをいただきました。どの担任の先生方も皆さんの健闘を期待しておられます。来年度は3年生となります。就職や進学に向け、計画的に後悔しないように過ごしましょう。



機械科 いよいよ皆さんは来月から3年生です。高校3年生の1年間は、今後の人生を大きく左右する重要な期間です。地味なこと、面倒くさいことでも「自分のため」と思って取り組み、希望の進路へ進んでいってください。期待しています！

担任 三好 涼太

情報電子科 2年生最後の定期考査も終わってしまいました。進路に対して「迷ってます。」という返事をよく聞きますが、決めなくてはならなくなってきました。早く決めれば決めるほど準備の時間をたくさん用意することができます。後悔の無い選択のために時間を使うことも大切ですが準備もない進路実現は困難さがあるかと思います。

担任 平尾 典久

建設科 1月に行く、2月は逃げる、3月は去るの言葉通り2年生も残り少なくなりました。進路の決定が近づいてきています、焦らずじっくりと考えて自分の将来「なりたい職業」・「なりたい大人」を選択してください。進路室にはベテランの先生方もおられますし、資料もいっぱいあります。遠慮しないでどしどし訪問・相談しましょう。春休み中でも学校が開いていれば大丈夫です。

担任 勝部 展司

電気科 来年度は、自分の人生選択に関わる1年と言っても過言では無いですが、進路選択に悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。そこで、以下の3点についてお伝えします。

- 1、過去を振り返る
- 2、情報を仕入れる
- 3、周りに相談する

何だ当たり前のことじゃないか。と言われそうな気もしますが、この3つには頭に共通の単語がつきます。待っているだけでは何も起こりません。きっかけを作って進路と向き合う年にしてほしいと思います。

担任 渡邊 哲平

環境エネルギー科 私たちは、何かを成し遂げようと思ったとき、一人でできることには限界があります。より多くの人たちが手を取り合い、協力していくことで、より大きな成功につながっていきます。そうした成功を呼び込むためには、自らを磨き、その何かに誠実に向き合うことです。また、私たちは、他人の考えや行動を変えることは難しいのに、上手くいかないとき他人のせいにしてしまいがちです。ですが、本当に成し遂げたいなら、一番変わるべきは自分かもしれません。そう考えれば、可能性は無量大。3年生でのさらなる成長を期待しています。

担任 亀井 隆也



みなさんは他の人よりも何か取り柄のある人、優れたところがある人でありたいと思いませんか。

自己有用感を求める心

優れたところがあれば周囲から褒められる機会が増えます。そして褒められると気持ちが良いし、自己有用感も高まります。だからこそ、多くの人何かで他の人より優れていたいと無意識のうちに思っているのではないのでしょうか。

時にそれは目標を設定し実現するために努力するエネルギーとなります。しかし、結果を得るにはエネルギーと時間が必要であり、努力を続ける強い意志と行動力が求められます。

しかし、その努力を面倒に感じる人が、相手を見下すことで、他の人より優れた自分を相対的に手っ取り早くつくりだす行為を選択することがあります。それは腕力を使うかもしれません。あるいは見下す言葉を使うかもしれません。行動に表さなくても心の中で見下す言葉をつぶやくかもしれません。このような安易な行為はいじめや差別であり、犯罪にもなり得ることです。

もしも、人より優れた何かを得たいのなら、そのために自分自身が変わる努力をしてください。他の人より優れた状態に達していなくても、その努力する過程を周囲が賞賛してくれるはずですよ。

気をつけなければならないことは、私たちは無意識のうちに他の人を見下している可能性があることです。障がいのある方が多数参加しているボランティア活動で、あるボランティアスタッフが心の中の変化を話してくれました。「私は障がいのある人を見下していたのではないかと思います。可哀想だから手助けしてあげようと思っていたのではないかと。でも参加して同じ人間なんだということに気付きました。」このように、私たちも自分の心を振り返ってみると気付かないうちに他の人をさげすんでいることがあります。

生まれながらにして、あらゆることに他者を尊重することができる理想の人物はそうはいないでしょう。幼子の振る舞いを見れば自分の感情を中心にした行動であることからそう考えられます。

他者を思いやる心は人と接する中で育ちます。もしも、自分の中の差別心に気付いたときは、そのときから考えを改め、行動を変えればよいのです。自分を責める必要はありません。気付いて変わろうとしている自分を認めてください。そして、人との関わりの中で自己有用感を感じてください。

校長 松川 明義



【行事予定】3月16日(木)：SPI模試(午前・国、数、英の順)、午後授業3時間
17日(金)：午前中授業、大掃除 午後合格者説明会
22日(水)：2年地元企業説明会(午前) 24日(金)：終業式
今週末の大会等：ボート全国選抜(静岡)



米工 HP



教育相談部(特別支援教育担当)



今日は、UD (ユニバーサルデザイン) についての話をしたいと思います。
近年、よく耳にする言葉ですが、皆さんはどこかで聞いたことがありますか？
あらためて言葉の意味を検索してみると・・・

『すべての人のためのデザイン』 『みんなにやさしいデザイン』

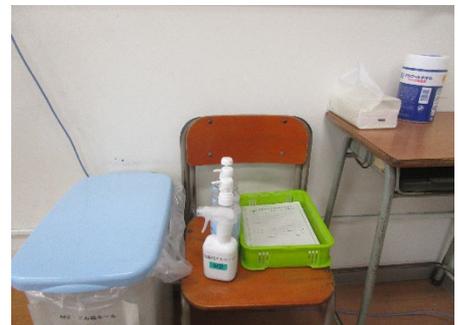
と出てきます。『年齢や性別、文化や身体状況など、様々な個性や違いにかかわらず、すべての人にとって使いやすいデザイン』のことをさしています。私たちの身近な生活の中にも、たくさんのUD的視点が含まれたモノが沢山あります。

例えば・・・

- シャンプー容器に付けられたギザギザ (リンスと区別するため)
- コイン投入口・選択ボタン・取り出し口が中間部分について自動販売機 (誰でも利用しやすいため)
- 缶ビールのふた部分に点字で『ビール』と書かれた商品 (ジュースやお茶と間違えないため)

是非、みなさんも登下校や休日どこかへ出かけた際に、身の回りにあるUDに目を向けてみてはどうでしょうか？思った以上に、沢山のUDに囲まれながら、自分たちが生活していることに気づけるはず。そして、将来『ものづくり』をとおして人々の生活を支える皆さんにとって、このような視点は、とても貴重な学びになると思っています。

では、最後に・・・ある日の放課後に3名の生徒と一緒に、米工ユニバーサルデザインを探しに、校内を散策した時の写真を紹介して終わりにします。～米工にも沢山のUDを見つけましたよ！～🌸



○手話学習会・・・2月14日(火)～16日(木)

1学年全クラスを対象に、手話学習会を開催しました。障がいへの理解学習と手話普及活動の観点から、3名の先生をお招きし開催しました。引き続き、校内での特別支援教育の充実に向けて取り組んでいきます。



行事予定 3月22日(水): 2年地元企業説明会(午前) 24日(金): 終業式
今週末の大会等: ボート全国選抜(静岡)





学校から見える朝陽が大山の左側へずいぶんと移動しました。ダイヤモンド大山を迎えたのはまだ寒い2月でしたが、いまでは5月の陽気さえ感じられる日があるほど暖くなりました。

令和4年度の縁を活かそう

本日、コロナウイルス感染症への制限が緩和されつつある中、全校が体育館に集合して終業式を行いました。在校生にとっては全校が体育館に集まる行事は初めてのことです。コロナ禍以前の状況が少しずつ戻ってきていることを感じます。

本年度も米工MAKERSにお付き合いいただきありがとうございました。校長のコメントを授業に活かした生徒の話を聞きました。先生方が担当された米工MAKERSが県内メディアで取り上げられもしました。また、校外のみなさまからも読んでますよというお声をいただくなど、この一年間の米工MAKERSへの反応を大変嬉しく思います。

本校関係者のみならず、これまで勤務した学校の卒業生からも米工MAKERSを読んでもらっていることをメールでいただき、とても嬉しく思いました。残念なことに、私の操作ミスでその卒業生からいただいたメールを削除してしまい、誰からのメールだったのか分からないままになっています。返信しなかったのですが、申し訳なく思います。また近況を送っていただければ、今度こそ返信します。

さて、私たちは毎日たくさんの選択をしながら生きています。過去の選択の一つ一つがつながって今があります。つまり、一つ一つの選択は今をつくる縁だと思います。たくさんある高校の中から米工を選んだことも選択の一つであり、縁です。この縁を生かすも殺すもみなさん次第です。工業の勉強をしたけどどうも自分には合っていなかったなあ、と感じている人も中にはいると思います。しかし、これを縁と考えて、自分が進みたい道で工業での学びを活かす方法はないかと考えてみれば、新たな視点で工業の学びに取り組むことができると思います。もしも、工業以外の道に進むなら、そこでは工業の知識の少ない方々が多いことでしょうから、工業の知識を持ったあなたには周囲の人にはないものづくりのセンスや知識があり、それを活かすことであなたにしかできない仕事が創り出せると思います。

どのような出会いをするかは、人生を決めていく大きな縁です。今年みなさんが出会った縁を大切に、その活かし方を考えてみてください。みなさんにとって良い一年間であったことを願います。

校長 松川 明義

【行事予定】 3月27日(月)：再募集入学者選抜
4月10日(月)：令和5年度1学期始業式、入学式

今週末の大会等：電験三種、ラグビー合同チーム中国大会



米工 HP